

各位

一般財団法人アジア太平洋研究所
所 長 宮 原 秀 夫
代表理事 小 浪 明APIR自主研究プロジェクト・オンラインフォーラム
「アジアにおける経済のダイナミズムとグローバル化の展望」
～米中貿易戦争、デジタルテクノロジーが日本、アジア経済に与える影響～

前略 当研究所では、研究プロジェクト「アジアをめぐる経済統合の展望と課題」の研究活動の一環として、オンラインフォーラムを開催します。

米国ではバイデン政権が誕生しましたが、その後も米中間の駆け引きは過熱し、米中貿易戦争終結への道筋はなかなか見えてきません。一方、中国やASEAN諸国ではデジタルテクノロジーのイノベーションが加速しており、国際ビジネスも急速に変化しています。

今回は学界・経済界より専門家をお招きし、ご講演いただき、討論を実施いたします。これまで中国に強く依存してきた日本・関西経済ですが、通商面でのQuad諸国(日米豪印)の関係強化も提言される中で、これからの日本を取り巻く世界経済を考える上で重要な視点を提供していきます。

なお、コロナ状況を鑑み、オンラインフォーラム形式とさせていただきます。
APIR会員企業のみならず、及び一般の方に広くご参加いただければ幸いです。

草々

記

日 時 令和3年7月1日(木) 13:30～15:00

開催形式 オンラインフォーラム (Zoomウェビナーによる配信)

次 第

- ・基調講演1「米中貿易戦争、アジアのGVCsに対する影響」大橋英夫氏(後掲)
- ・基調講演2「中国・アジアで進化するデジタルテクノロジー」岡野寿彦氏(後掲)
- ・パネルディスカッション
〈コーディネーター〉木村福成氏 (APIR上席研究員/慶應義塾大学経済学部教授
/東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)チーフエコノミスト)
〈パネリスト〉 大橋英夫氏
岡野寿彦氏

講師略歴

大橋英夫氏(専修大学経済学部教授)1956年生まれ。上智大学文学部新聞学科卒業、筑波大学大学院社会科学研究科単位取得。三菱総合研究所研究員、在香港日本国総領事館専門調査員、日本国際問題研究所客員研究員等を経て、2000年より現職。専門はアジア経済・開発経済学。

岡野寿彦氏(株式会社NTTデータ経営研究所シニアスペシャリスト)NTTデータにて、北京現地法人トップ、東南アジア・インド事業開発責任者、中国人民銀行直系企業集団との合弁経営などを歴任、2016年4月から現職。

- 締め切り 6月25日(金)
- 参加費 無料
- 定員 100名(定員になり次第締め切ります)
- 申込方法 APIRホームページ (<https://www.apir.or.jp/event/>) よりお申込み下さい。
追って、事務局よりセミナー情報(URL、パスワード等)をご登録いただきました個人メールアドレス(代理アドレス不可)にお知らせいたします。

【ご連絡先】TEL:06-6485-7692 FAX:06-6485-7689 e-mail: kouenkai@apir.or.jp
(担当:池田、山守、松尾)

以上